

トリの名の魚たち集合

鴨川シーワールド特別展示



トリノアシ=い
ずれも鴨川シー
ワールド提供



シマスズメダイ



ダイコクサギフエ

今年の干支「酉」にちなんだ海の生き物を集めた特別展示「海の酉たち」が、鴨川市の鴨川シーワールドで開かれている。計6種約80点を展示。名前の由来を知らながら、その姿を観察してみては？

和名に「スズメ」がつく魚のシマスズメダイとテンジクスズメダイは、体が小さく、群れて泳ぐ姿がスズメを連想させることから名がついたと考えられる。ツバメウオは、幼魚のころの体形がツバメが飛んでいる

姿に似ているためについたとされる。房総半島周辺の海では2種類のツバメウオの幼魚が見られるという。

ダイコクサギフエは細長い口がサギのくちばしを連想させることから名がついた。ふだんは水深200メートルほどの深い海にいるが、鴨川では毎年5月から6月ごろ、群れて定置網にかかることがまれにあるという。

ニワトリの足が逆さまになったような姿からトリノアシと呼ばれる生物は、ヒ

トデやウニと同じ棘皮動物の仲間。体長40〜50センチで水深100〜500メートルの海底で生息する。

31日までエコアクトアローム内の特設会場で。午前9

時〜午後5時。入園料は大人2800円、4歳〜中学生1400円、学生（高校・大学・専門学校生）2200円、65歳以上2100円。